

基本的にジャンプの内容を転記、放デイと児発で少し変わるため、移行支援と地域支援の部分だけ追記してください

(別添資料1)

事業所名

まいるーむ放課後こども教室
ジャンプ児童発達支援

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

8 日

法人（事業所）理念		「療育の世界に新しい道を」 すべての人々が分け隔てなく成長し、心身ともに「健康」をはぐくむ環境を創る							
支援方針		療育を通して今と将来の「安心」を提供し、親の愛を信じ、愛情をもって療育に没頭する							
営業時間		平日 土・祝日	10 時	0 分から	16 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	1人1人の課題に合わせ、身辺自立に向けて「食事」「整容」「排泄」「衣服等の着脱」「準備や片付け」など基本的な生活スキルを身に付けられる活動を実施。健康状態の維持や改善、生活のリズムや生活習慣の獲得の支援の実施。							
	運動・感覚	粗大運動：健康な体づくりだけでなく、姿勢と移動・動作の向上を目的とした内容の活動をボールやバランス用具等を使って実施。 線上歩行、バランス運動、リトミック、走や跳の運動の実施。 微細運動：手指、指先等の巧緻性を養うようなひっぱる・掴む・捻る・摘まむ・はめる・通す・貼る・塗る・描く・切るなどの活動を実施。							
	認知・行動	身体の部位、数の概念、時間の概念、色・図形・位置・分類を意識付けたり、学べる活動の実施。							
	言語コミュニケーション	指示理解や非言語（身振り、指差し、サイン、ジェスチャー）、言語（2語文、3語文、名詞、動詞、形容詞、助詞など）に関する活動の実施。 文字を書く・読む、語彙を増やす、感情や行動のコントロールに関する活動の実施。							
	人間関係社会性	集団生活・地域生活や社会的スキルを身に付けられる活動の実施。							
家族支援		事業所内面談により成長の基盤となる家庭支援を安定・充実させるための相談援助を行う。 保護者会等（不定期開催）で支援のポイントをレクチャーする。 保護者同士が交流する機会を設ける。				移行支援		個々のニーズに応じて、就学・入園に備えての情報提供を行う。 進学先や受け入れ先となる学校・園等の関係機関との連携を図り、支援内容の情報共有・支援体制の構築を行う。	
地域支援・地域連携		地域の通所支援事業所連絡会などの情報共有の場へ参加し、連携を図る。 園等への送迎の際や受け入れの際の会議などを通して、児童の心身の状況や生活環境などの情報共有・連携を実施。				職員の質の向上		職員研修を実施し、支援力の向上を図る。 支援前後の会議で情報共有を行うことで統一した支援を行う。	
主な行事等		季節に関するイベント、食に関するイベント（クッキング）などの実施。地域の公園などへ出かけ、地域の方々や子どもたちと交流を図る。							